

秋の叙勲・褒章・ 危険業務従事者叙勲



瑞宝双光章 【建設行政事務功労】

ながおか まさとし
長岡 正利 氏（陽光台）70 歳

■元 国土地理院測図部長

長岡氏は昭和 46 年に建設省（測量・地図の「国土地理院」）に入省され、その後、環境庁や建設省河川局への出向を経て、51 歳で勲奨退職されるまで、国における建設行政に貢献されました。その後は民間企業での勤務のかたわら、地図・測量の普及啓蒙に尽力されました。

【受章者の声】このたび、はからずも叙勲の栄に浴しましたところ、片庭市長様をはじめ、関係の皆様から丁寧なご祝意を賜りましたこと、篤く御礼申し上げます。当日は皇居にて天皇陛下に拝謁を賜りましたが、この栄誉もひとえに皆様のご支援の賜と感謝申し上げる次第であります。

永年にわたる職務に対する功労や社会貢献をたたえる秋の叙勲、社会の各分野における優れた行いや業績をたたえる褒章、永年にわたって危険性の高い公務に携わり、社会に貢献された功績をたたえる危険業務従事者叙勲の受章者をご紹介します。

市内からは、瑞宝双光章に長岡正利氏、横瀬允泰氏、海老原邦雄氏、瑞宝単光章に山口善男氏と酒井一男氏がそれぞれ受章されました。

今回の受章をお祝い申し上げますとともに、ますますのご活躍をお祈りいたします。



瑞宝双光章 【消防功労】

えびはら くにお
海老原 邦雄 氏（紫峰ヶ丘）65 歳

■元 東京消防庁消防正監

海老原氏は、昭和 46 年に東京消防庁に入庁され、杉並消防署に配属。その後、金町消防署・警防課長や東京消防庁・消防団課長を歴任され、杉並消防署長として退職されるまで永きにわたり、地域住民の生命と安全を守るためその職責を全うされました。海老原氏は在職中、消防組織の充実強化や、消防団制度の改善などにも取り組まれました。

【受章者の声】はからずも瑞宝双光章受章の栄に浴し、大変光栄に思っております。多くの方から賜った数々のご指導ご協力と家族の支援のおかげと心から感謝申し上げます。今後とも地域へのご恩返しのため、わずかなりとも努めてまいります。



瑞宝双光章 【警察功労】

よこせ まさやす
横瀬 允泰 氏（陽光台）71 歳

■元 警視庁警部

横瀬氏は、昭和 39 年に警視庁巡査を拝命され、昭和 40 年に万世橋警察署に配属。その後、小岩警察署、亀有警察署、西新井警察署などを経て平成 18 年に退職されるまで永きにわたり、地域住民の暮らしを守るためその職責を全うされました。横瀬氏は在職中、犯罪の防止や交通事故予防などに取り組まれ、安全・安心なまちづくりに寄与されました。

【受章者の声】このたびは叙勲の栄誉を賜り大変光栄に思っております。これもひとえに職場の先輩同僚をはじめ、家族や地域の皆様のご指導ご協力のおかげと深く感謝しております。今後は健康に留意し、日々大切に過ごしてまいります。



瑞宝単光章 【警察功労】

やまぐち よしお
山口 善男 氏（狸穴）71 歳

■元 警視庁警部補

山口氏は、昭和 39 年に警視庁巡査を拝命し、昭和 40 年に第一機動隊に配属。その後、大森警察署、千住警察署、葛飾警察署、下谷警察署を経て、戸塚警察署を最後に退職されるまで 40 年の永きにわたり、住民の生命と地域の安全を守るため、その職責を全うされました。

【受章者の声】叙勲の栄誉を賜り大変光栄に思っております。これも多くの関係者の皆様のおかげと感謝しております。また、私を支えてくれた家族にも感謝しております。今後は健康に留意し、日々を家族と大切に過ごしてまいります。



瑞宝単光章 【消防功労】

さかい かずお
酒井 一男 氏（城中）65 歳

■元 つくばみらい市消防団副団長

酒井氏は、昭和 59 年に当時の伊奈村消防団に入団。以降、32 年間の永きにわたり、地域住民の安心安全な暮らしを守るため尽力されました。平成 16 年に長男の昌宏さんが市消防団に入団してからの 12 年間は、親子で消防団活動に従事されるなど、地域防災に深く関わり、多大な貢献をされました。

【受章者の声】このたびは叙勲の栄誉を賜り大変光栄に思っております。これもひとえに多くの関係者の皆様のおかげであると心より感謝しております。今後この栄誉に恥じることのないよう生きていきたいと思っております。